

# SEOS便り

責任者 実者 敏員 3名  
責任者 正任 勝集  
責任者 貴責 勝集  
責任者 古編 石他  
責任者 編石 他編 集3

## 平成29年度 新事業年度の抱負

専務取締役 古谷 正実

社員の皆様！毎日の勤務お疲れ様です。新事業年度のスタートに当たり、私の抱負を述べさせていただきます。

まず本年の世界及び日本の政治経済は、トランプ大統領の言動に大きく左右されることでしょう。そして、何が起るか分からない不安もつきまといまいます。その中で国内政治面は、アメリカの動向はもちろんなこと、中国や韓国そしてロシアとの距離の保ち方が、大変むずかしくなるものと思われまいます。一方国内経済面は、個人消費の低迷をいかに上昇させるかが課題かと考えまいます。

さて、私達の業界は、深刻な人手不足や社会保険料また最低賃金のアップにより、利益が出にくい体質になってきています。そこで各企業では、経営効率を上げる為ロボット化・IT化・M&Aなどを進めており企業格差が生じてきております。このような環境下、当社は29年度も増収増益の事業計画を次の事項を基軸に策定致しました。

- 新規顧客の拡大
- 既存顧客の維持
- 財務体質の強化
- 次世代社員の教育
- 人材の確保

です。また経営課題は不採算部門の縮小 支社の黒字化

です。以上を具現化する為には、全社員が同じ方向を見て連帯し歩み始めることなのです。そして、会社をリードしていく私以下管理職が覚悟と決意を持ち自ら先頭に立ち、実行していくことなのです。皆様もどうぞ御理解の上、御協力の程宜しくお願い致します。



常務取締役 石川 勝敏

今月より新事業年度がスタートしましたが、まず、昨年度の業績動向を振り返って見ますと、2社共に概ね良好に推移した一年であったと判断しています。これも偏に皆様のご尽力の賜物と改めて感謝申し上げる次第です。

しかしながら積み残した課題もそれぞれに山積していることも事実であります。新事業年度は次の事項に関して部門長先頭に改善と改革を一致協力して推進されるようお願いする次第です。はじめにGMCですが

- 一、好調な部門と不振部門の格差が一段と広がっている現状の打開が急務です。赤字部門は、最低でも業務の効率化や不採算業務の見直しを含めて赤字脱却が至上命題といえます。
- 一、全部門共通事項ですが安定した事業継続のため、固定物件の獲得に向けた営業活動を部門を挙げて実行すること。この項目については、実行しなければ部門存続の危機に直結するとの認識が不可欠です。
- 一、部門全体としての組織力の強化・向上も必要です。個人の資質の向上はもとより業務管理や計画性を織り交ぜた連携・協業も組織力を強化する重要な要素です。

次はAGSについてですが

- 一、新事業年度も人員の確保は最重要課題に変わりありません。会社としては、募集経費を他の経費に優先して予算を計上しましたので皆様には、各現場毎に定着が向上する方策や知恵を絞って取り組んで下さい。
- 一、昨年は、大型物件の受注で順調に推移のようには見えませんが、既存物件での解約・減額により減速したのも事実であります。従って、GMC同様、新規物件へ果敢な挑戦を実行して下さい。



取締役GMC事業本部長 白濱 実幸

平成二十九年、新事業年度が始まりました。昨年度は皆様方の絶大なる御協力、そして昨年十一月から受注、開始させて頂いている九州自然動物公園の管理業務等により、増収、増益で締めくくることができました。

しかしながら、本年度も慢性的な人手不足、最低賃金や社会保険料の増加等、経費増が経営に大きなマイナス影響を与える状況が続いております。

この様な環境下の中、中長期的、かつ持続的な安定経営が出来る、将来に向けた環境作りを進めてまいります。

- 一、新規固定物件の受注に向け積極的な営業活動の実践。
- 二、既存顧客への更なる提案による、臨時案件の受注促進。
- 三、売上と総経費の採算見直しによる赤字部門の再構築。
- 四、人材の発掘と育成の強化による組織・個人の質的向上。
- 五、関係法令の遵守と危機管理環境の充実。

以上五つを基軸に、将来の安定成長に向け邁進してまいります。本年度も皆様方の更なる御協力、宜しくお願い申し上げます。



AGS事業本部長兼機械警備部長

寺本 憲生

平成28年度AGSでは、帝京大学板橋キャンパス常駐警備新規受注がありました。前警備会社から移籍して頂いた警備員の方々や、GMC事業部あるいは管理本部の方々多数のご支援ご協力もあり無事に立上げに成功することができました。心より感謝致します。平成29年度も新規固定物件の獲得を図りつつ人材の育成も目指し、事業発展の為に全力で取り組んで参る所存でございますので、引き続き皆様方のご支援とご協力の程よろしくお願い致します。



経理部長 砂田 隆

平成二十九年度がスタートしましたが、ビルサービスを取り巻く環境は決して良いとは言えません。このような環境の中、経理部は事業部とも連携をはかり、お客様との信頼関係を強固なものにしていきたいと考えております。「増収・増益」の達成の為に、滞留売掛金の減少、内部留保のつみまし、業務改善の推進を目標にしていきたいと思います。

新戦力の新人も加わり、更にパワーアップした

経理メンバーで、ビルサービスの更なる発展の為に全力をつくしますので皆様のご協力をお願い致します。



埼玉支社長 岩澤 利彦

平成28年度、埼玉支社はGMC・AGS共売上、営業利益未達という惨憺たる結果に終わってしまい深く反省しております。埼玉支社長を再び拝命してから、5年目に入りました。平成29年度は既存ユーザーからの掘り起こし、不動産・管理会社や同業他社への訪問と情報収集に努め営業拡大するのにもとより、次世代への引継ぎを円滑に行なうことを念頭に置きながら進めていきたいと考えております。各情報

仕様を含めた各書類の整備をし、本社など他部門からの力も借りて、固定売上獲得による安定した埼玉支社を目指して参ります。宜しくお願い致します。



環境部長代理兼千葉営業所長

斉藤 勝利

平成28年度環境部においては、新規顧客の獲得もありましたが、売上は多少の未達、利益は大幅の達成で事業年度を終えようとしております。

ここ数年においては、労働力不足等の厳しい状況ではありますが、「増収・増益」を達成するためにも更なる人材の発掘と社内育成の強化を行い、すべてのお客様に信頼を頂きますよう部員一同邁進して行く所存でございます。次年度においても皆様の協力無しでは目標達成は困難であります。

皆様の御協力、御尽力をお願い致します。



施設部長代理 杉本 吉幸

平成二十八年度は、固定売上減でスタートを切りましたが、改修工事・機器更新工事等の臨時大型案件の受注もあり、売上・利益共に大幅達成することが出来ました。

平成二十九年度も「新規固定の獲得」は必須と考えております。「既存顧客の維持」を軸に、五年後・十年後を見据え固定物件のみで安定した運営が出来るよう、施設部一丸となつて全力で取り組んで参ります。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



常駐保安部長代理 田平 忠隆

初めて寄稿させていただきましたこととなりました常駐保安部長代理の田平です。現在、常駐保安部の大きな課題として、各警備隊とも人員不足が顕在化しており、如何に補充して各警備隊をゆとりある環境にするかに掛かっていると云わざるを得ません。また、各警備隊においては、人員不足及びマンネリ等から生じるミスにより苦情・クレームを受けられないように今後とも注意していただきたいと思っております。新年度に当たり初めに帰って再度見直して下さい。最後に皆さんお一人おひとり健康には十分に注意して頂きたいと存じます。



横浜支社長代理 藤井 和行

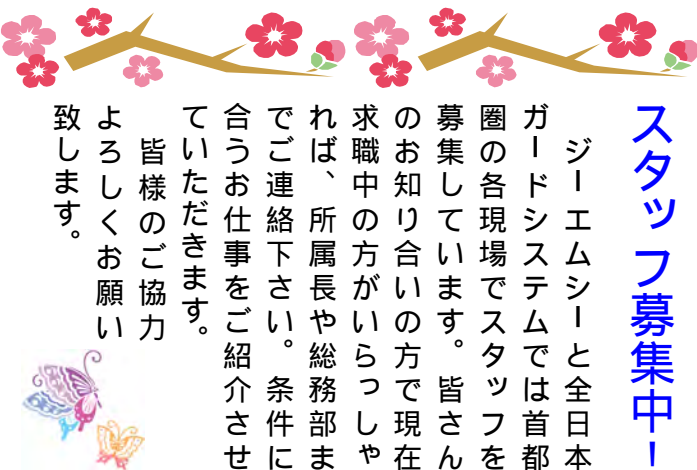
平成28年12月より機械警備部長代理から横浜支社長代理を拝命し、早3ヶ月が過ぎました。平成28年度の業績は、AGSは昨年5月に川崎ダイスの受注もあり、売上は達成したものの営業利益は未達でした。GMCに関しては売上、営業利益共に達成することが出来ませんでした。平成29年度は、新規顧客の開拓、既存顧客の維持と新たな物件の獲得を推し進め、AGS・GMC共に目標達成出来るよう努めてまいります。新たな体制の下、皆様の御協力を宜しくお願い致します。



### スタッフ募集中!

ジーエムシーと全日本ガードシステムでは首都圏の各現場でスタッフを募集しています。皆さんのお知り合いの方で現在求職中の方がいらつしやれば、所属長や総務部までご連絡下さい。条件に合うお仕事をご紹介させていただきます。

皆様のご協力  
よろしく  
お願い  
致します。





新事業年度  
経営指針

平成29年度 グループ共通経営指針

# 21世紀社会への挑戦

- 「大変革」に備え選択と集中を徹底させスクラップ&ビルドを加速する -

1. 「新たな社会」に対応するマーケット・顧客像の確立
2. お客様に「誠意と真心」で対応する「企業集団」創りへの取組み強化
3. 環境激変に対応できる「企業使命」・「会社・組織、規程・規律」の見直し
4. 「AI、ロボット」社会への対応で「生産性革命」を目指そう
5. 事業の継続や早期復旧を可能とする「危機管理体制」の強化



平成29年度 ビルサービス経営指針 (GMC・AGS共通)

## 社会の変化に対応する飽くなき挑戦

~ 優良業務と不採算業務を選別し、企業競争力の強化・推進を図る ~

1. 成長市場と顧客を選定した営業活動推進
2. 顧客の信頼強固に組織と個人の質的向上
3. 環境激変に対応できる社内規程の見直し
4. 各階層における人材の発掘と育成の強化
5. 関係法令の遵守及び危機管理環境の充実



## 湯島天満宮 節分祭

本社近くにある湯島天満宮では、毎年2月3日に節分祭が開催され、境内で豆まきが行われます。当社からも毎年男、年女の方に豆まきに参加していただいています。

当日は天気も良く、たくさんの参拝者に向けて豆をまいて邪気を払い、今年一年の無病息災を願いました。



左上から  
環境部：大西巧之さん、常駐保安部：鐘田鴻徳さん  
施設部：三ツ橋賢吾さん、常駐保安部：齋藤則之さん  
左下から  
施設部：藤富勝さん、総務部：弦間綾さん

## 全日本ガードシステム プライバシーマーク取得！

全日本ガードシステムは平成29年2月1日にプライバシーマークを取得しました。

プライバシーマークとは、事業者が個人情報の取扱いを適切に行う体制等を整備していることを、一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) が認定し、その証として「プライバシーマーク」の使用を認める制度です。

当社としても個人情報の取扱いが多いことから、およそ一年掛けてプライバシーマークの取得を目指し、各部門で社内環境を整備し、無事取得することができました。

プライバシーマークの有効期間は2年間となっており、今後も随時更新して使用できるよう、従業員の皆さんにおいても個人情報の取扱いには十分留意しましょう。

